

伴走型相談支援

×

鶴岡市赤ちゃんメッセージ・ギフト事業

～WBCプロジェクト 若手職員政策提案～

メンバー

*子育て推進課

*管理課

*羽黒庁舎市民福祉課

佐藤直豊

難波拓実

齋藤綾乃

*健康課

*朝日庁舎総務企画課

*市民課

小松美菜子

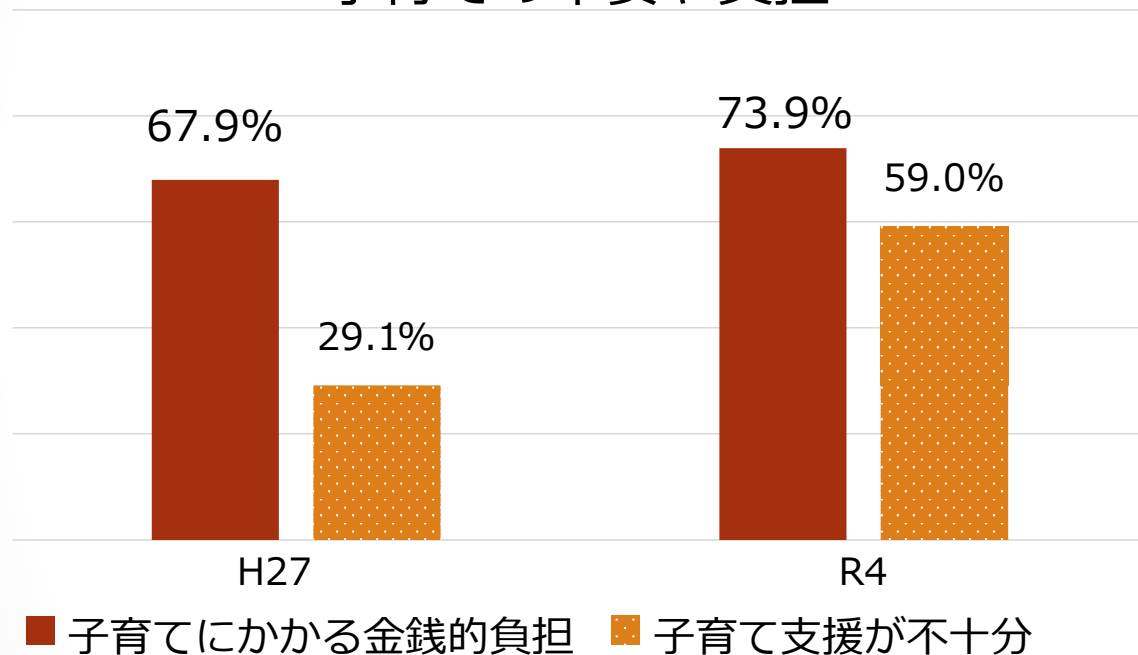
須貝俊太郎

宮崎亜衣

1, ニーズの把握

(1) 現状の分析

子育ての不安や負担



«出典：鶴岡市政策企画課 実施「出産・子育てに関する意識・希望調査」»

～調査結果～

- * 「金銭的負担」は大きく変化はなく、一番の負担である。
- * 「子育て支援が不十分」は、前回調査と比べ、**約2倍**になっている。

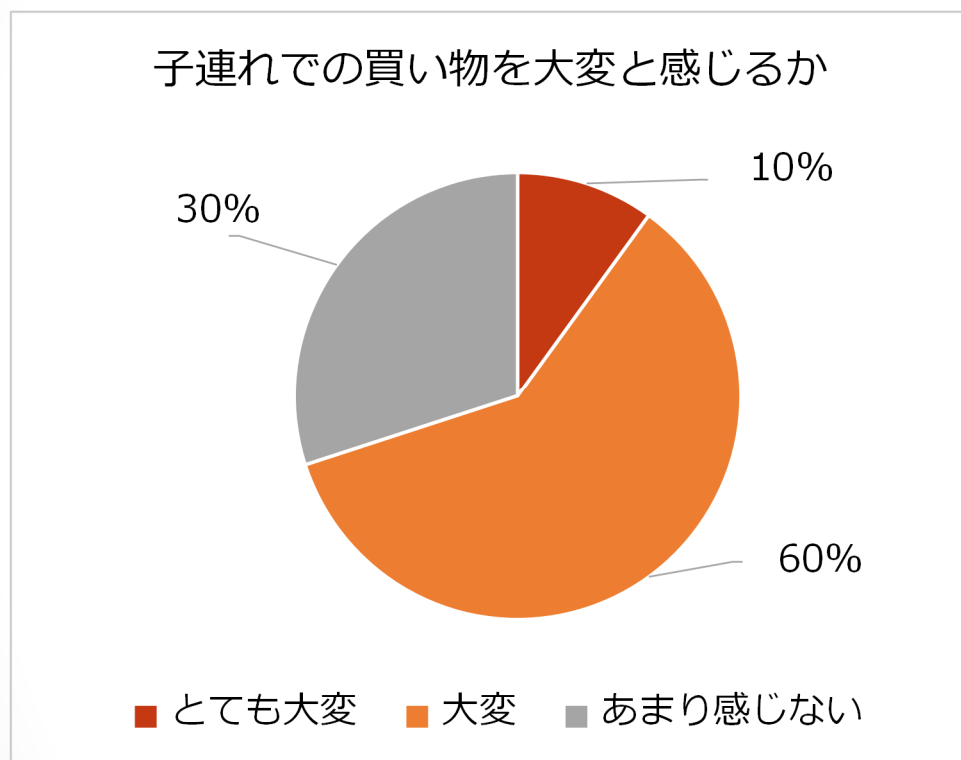
その他に…

- ・ 育児が精神的・身体的負担
- ・ 配偶者や家族からの協力が得られない
- ・ 子育ての方法やしつけ、愛情のかけ方が不安

子育てに対する不安や負担が大きい！

(2) インタビュー調査

子育て中の保護者、または妊娠中の方に「子連れでの買い物に係る負担感」についてのインタビューを実施
(実施期間：令和5年9月中、対象：14世帯)



～結果～

- * 「とても大変」「大変」は **7割**
- * 子どもが歩くようになっている **1歳半以降の家庭は全世帯が「大変」と回答**
- * 「あまり感じない」と回答したものは、1歳未満の子を持つ親のみ

日常的な買い物が、精神的・身体的負担になっており、頼れる人がいない人もいる

(3) 政策提案の裏付け

【政策企画課が実施した、出産・子育てに関する意識調査より】

① 育児は身体的負担もあり、また育児に対する不安や悩みによる精神的負担もある。

【子育て世帯へのインタビューより】

② 子どもを連れて買い物をするのは負担であり、頼れる人が身近にいない人もいる。

以上の結果より

子育て世帯に寄り添い、お父さん、お母さんの

精神的・身体的負担の解消につながる支援が必要

2, 問題解決のための政策提案

(1) 解決策の方向性

子育て世帯に寄り添い、精神的・身体的負担の解消につながる支援

解決策

妊娠期から
出産・子育てまで、
**一貫して相談
できる体制の構築**

様々なニーズに即した
必要な支援につなぐ
**「伴走型相談支援」
の強化**

子育て世帯の
ニーズにあわせた
支援策の検討

産前産後の家庭に応援メッセージや出生祝を贈る

『鶴岡市赤ちゃんメッセージ・ギフト事業』

を提案する

▶ 提案内容

既存の「伴走型相談支援（※）」の妊娠7か月アンケート・産後の乳児訪問時の面談を重点に、事業の拡充を図る。

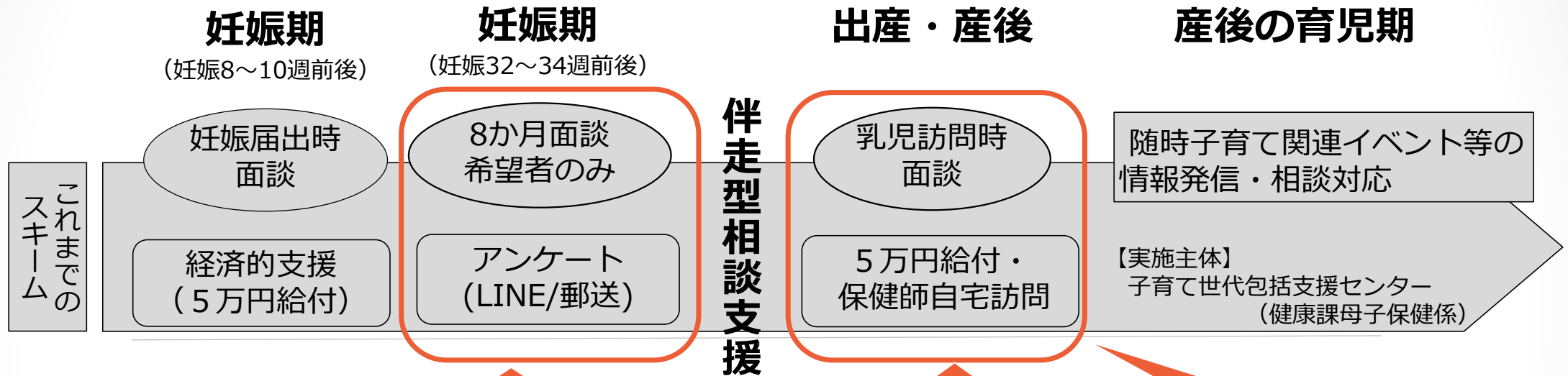
- ① 出産を前にした妊婦の不安の緩和を図るために、応援メッセージを贈る
- ② お祝いメッセージとプレゼントを贈る
- ③ どのような支援が必要か調査するアンケート（ニーズ調査）を行う

※伴走型相談支援

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うため、
「出産・子育て応援給付金」（10万円の現金給付）の経済的支援と一体的に実施している事業（令和5年2月開始）

(2) イメージ

「鶴岡市赤ちゃんメッセージ・ギフト事業」による伴走型相談支援の強化をイメージしたもの



WBC提案



① 出産を前にした妊婦の不安の緩和を図る。

⇒母子モ(※)で応援メッセージを贈る

② お祝いメッセージとプレゼントを贈る。

※母子モ：「母子手帳アプリ」のこと。
 鶴岡市では妊娠、出産、子育てをサポートする子育て総合支援アプリである「母子モ」を活用し、「つるおか子育てアプリ」として情報提供を行っている。

③ 支援ニーズ調査実施

⇒どのような支援が必要か調査するアンケートを実施

3, 期待される効果

(1) こどもまんなかの実現

- * 産前産後の家庭の出産や育児に係る **不安感の軽減** を図る。
- * 身近で相談できる関係性を構築し、子育て家庭の孤立化を防ぐことにより、**産後うつ、児童虐待の防止等の効果** が期待される。
- * 地域にゆかりのあるギフトを子どもに届けることで、**子育て家庭の地元への愛着を育む**。